

有機材料システム研究科

教育プログラムの名称：有機材料システム専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院有機材料システム研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（有機材料システム専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 有機材料システム分野における研究能力と高度な専門性に支えられた論理的な思考力および記述力を備えている。
2. 高いコミュニケーション能力を有し、情報をグローバルに発信できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院有機材料システム研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、有機材料システム専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 有機材料システムに関する深い知識が得られるよう、基礎から先端分野に及ぶ専門科目を配置する
2. 有機材料が関わる学際領域や異なる研究領域に関する専門科目も開講するとともに、他研究科や他大学院で履修した科目も単位として認定する。
3. 英語によるコミュニケーション能力やグローバルな思考を養うためのグローバル・実践科目を必修科目として配置する。
4. 研究室で行われる実験や演習等を通して、技術者・研究者としての素養を実践的に身に付けられるよう、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接により選抜します。

- ・有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- ・有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- ・社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行できる人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接及び口頭試問並びに外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）